

# 私たちの愛で地球の熱を下げよう



りゅう ゆうがく  
劉 友学

出身 中国

職業等 主婦

在日期間 1年9ヶ月

皆さん、こんにちは。どうぞよろしくお願いいたします。

最近、新聞やテレビで地球温暖化や自然環境の変化、例えば、エチゼンクラゲの被害で漁師さんたちが困っている様子を読んだり聞いたりすることが多くなりました。

鳩山総理大臣は、二酸化炭素を25%削減するとニューヨークの国連で発表して、大変有名になりました。

私も、私たちが暮らすこの地球の環境についてとても気になっていきますし、大変心配しています。

中国には、人口1,000万人以上の都市が4つ、300万人以上の都市が10もあります。1,000万人以上というと、東京都とほぼ同じぐらいの人口を抱えた都市が国内に4つもあると想像してください。

それらの都市に暮らす人々が、環境への意識が薄い生活をし、その上、水処理のインフラが遅れた状態で工業が発展すれば、大気や河川、海などが汚染されることは誰が考えてもわかることです。

その及ぼす範囲は、中国国内はもちろん、汚染された黄砂や海岸に打ち上げられているごみからもわかるように、日本など近隣の国々だけでなく、地球全体に及ぶのです。

何しろ、我が国の面積は日本の約30倍と広大で、人口は日本の10倍以上で約13億人もいるのですから。

今のところ、地球は温暖化するという説と寒冷化するという説があります。どちらにしても地球に大変な痛みを与えているので、急激な気候変化が起こると一番困るのは中国だと思います。なぜなら、内陸部はもちろん、都市部でも夏は40度から50度近くまで暑くなり、冬は零下20度から30度になるところがあります。私たちの時代に地球を苦しめて、これ以上暑くなったり寒くなったりする状況を子どもたちや孫たちに渡すことができません。

私が子どものころ、家の前の川は村の人々の飲み水として使われていました。夏休みになると友達とその川で泳ぎました。さあ、その川は今どうなっているのでしょうか。水の色が変わり果て、悪臭を放つ、とんでもない川になってしまいました。原因は、流域にある工場から出た汚染された水、あるいは、除草剤や農薬による複合的な汚染が進んで水質が変わってしまったのです。今、私が住んでいる取手の利根川や霞ヶ浦の浄化は地域に暮らす人々の地道な努力の結果だと聞いています。

地球の温暖化や環境破壊にはもっともっと必死に取り組み、行動することが中国の国民に必要なのではないかと。そして、私にできることは何だろうと特に日本に来てから真剣に考えるようになりました。

日本の皆さんもご存知だと思いますが、中国では広い地域で砂漠化が進んでいます。また、中国では、今でも火力発電にたくさんの石炭を使い、そのため、空気が汚染されてスモッグがひどくて、喘息やそのほかの健康被害に苦しんでいる人が大勢います。

中国でも、これではいけないと考える人が大勢出てきて、地球に優しくしましようと、毎年5月1日、植樹節といって中国全土の小・中・高校の生徒が先生と一緒に砂漠化した地域に木を植える教育を実施しています。この取り組みは小さいころから子どもたちに地球に優しくしようという心を育てるための教育です。

二酸化炭素の削減など最先端の技術を持っている日本の皆さん、もっともっと力を貸してください。地球が泣いています。私たちの責任で地球の痛みを一緒に治していきましょう。

ご清聴ありがとうございました。